



2021年 6月20日  
第162号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 会社の2.0ヶ月回答



# 夏季手当について職場からさまざまな声が届いています！

会社がコロナ以前には戻らないと言いながら、利用状況や収益を前年比ではなく、前々年比で少ない、少ないと主張するのはおかしいと思う。

社員の費用削減を認めているなら夏季手当だけでももっと応えて欲しかった。

手当が出ることはありがたいが、でももっともらえたら。

職場で運動をつくり出し、生活実感を組合員が語り、声を上げたから2.0ヶ月がまず出た。

「2.0ヶ月出て安心した」と思わせ社員の分断を図る手口だ。

結果はどうあれ、再申し入れて姿勢を見せるのは良いことだ。

役員報酬や株主配当を下げる経営努力が見えるならわかるが、株主配当も下がっていない。基本給が高ければ良いが、高くない。

手当は生活給、生活が厳しい。

ボーナス頼りになっている事態がおかしい。基本給をあげるべき。

社友会に入っているにも、一度も意見を聞かれたことはないです。

“会社から給料をいただいている”のではない。俺らは働いている。その分賃金や手当をもらうのは当たり前。

収入が減り、生活を切り詰めて必死に歯を食いしばって生きています。夏季手当は貴重な収入源なので、満額はどうしても必要です。

**会社の2.0ヶ月回答には納得できない！  
私たちの生活を守るため、職場からのたたかいを高めていこう！**